

2023年度 環境経営レポート

(対象期間： 2023 年6月1日 ～ 2024 年5月31日)



エコアクション21

®環境省

認証番号0011690



株式会社

野生鳥獣対策連携センター

発行日： 2024（令和6）年9月1日

目 次

項 目	ページ
環境経営方針	1
組織の概要	2
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	3
環境経営目標及びその実績（環境経営目標）	4
環境経営目標及びその実績（環境経営目標の実績）	5
環境経営計画の取組結果とその評価	6
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果，並びに違反，訴訟等の有無	8
代表者による全体の評価と見直し・指示	9

環境経営方針

＜環境経営理念＞

株式会社野生鳥獣対策連携センターは、豊かで楽しい自然の暮らしを創り、支えるため、野生鳥獣対策に関する事業に取り組んでおります。また、自然環境への影響も懸念されている野生鳥獣問題の解決を目指し、行政・住民・狩猟者への支援を行い、社会へ貢献することを目指す中で、環境保全・循環型社会の実現が重要であることを認識し、環境負荷の継続的な低減を目指すため、以下の活動に取り組みます。

＜環境保全への行動指針＞

- 1 . 事業活動に適用される環境法規制等を遵守します。
- 2 . 電気・燃料使用にかかる、二酸化炭素排出量の削減に努めます。
- 3 . 廃棄物の分別・削減に努めます。
- 4 . 適正な利用により水使用量の削減に努めます。
- 5 . 薬品の適切な使用・管理に努めます。
- 6 . 業務を増やし、豊かで楽しい自然の暮らしの創造に努めます。
- 7 . この環境経営方針は全ての従業員に周知します。

制定日：平成28年3月10日

改定日：平成30年6月1日

株式会社野生鳥獣対策連携センター

代表取締役

坂田 宏志

□組織の概要 (2024年8月現在)

(1) 名称及び代表者名

株式会社野生鳥獣対策連携センター 代表取締役 坂田 宏志

(2) 所在地

本 社 〒669-3811 兵庫県丹波市青垣町佐治94番地-2
岡山支社 〒709-0721 岡山県赤磐市桜ヶ丘東3丁目3-247
高松事務所 〒761-8082 香川県高松市鹿角町字城ノ内320-20
九州事務所 〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神二丁目3番10号 天神パインクレスト719号室

指定管理施設 (2026年度中に拡大予定)

兵庫県立総合射撃場 〒673-1113 兵庫県三木市吉川町福井523番地6

※兵庫県の同施設設置管理条例、同施設管理規則、及び同施設管理協定等の定めに従い、環境に配慮した施設管理を行う。

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者 総務課長 上坂 ゆみ子
担当者 総務課 古田 奈緒子
電話/FAX 0795-78-9799/0795-78-9769
メールアドレス furuta@cho-jyu.jp

(4) 事業内容

野生動物の被害対策や捕獲に関する実態調査、技術指導、現場対応、各種マニュアル・技術プログラム作成、
個体数推定・将来予測、各種計画の策定、事業効果検証、射撃場の管理及び運営事業など

(5) 事業の規模 (2023年度 エコアクション21 認証・登録範囲)

売上高 327,981 千円

	本 社	岡山支社	高松事務所	九州事務所	合計
従業員	16 名	7 名	4 名	1 名	28 名
延べ床面積	233.00 m ²	145.05 m ²	97.38 m ²	0.00 m ² (バーチャルオフィス)	475.43 m ²

(6) 事業年度 6 月 1 日 ~ 5 月 31 日

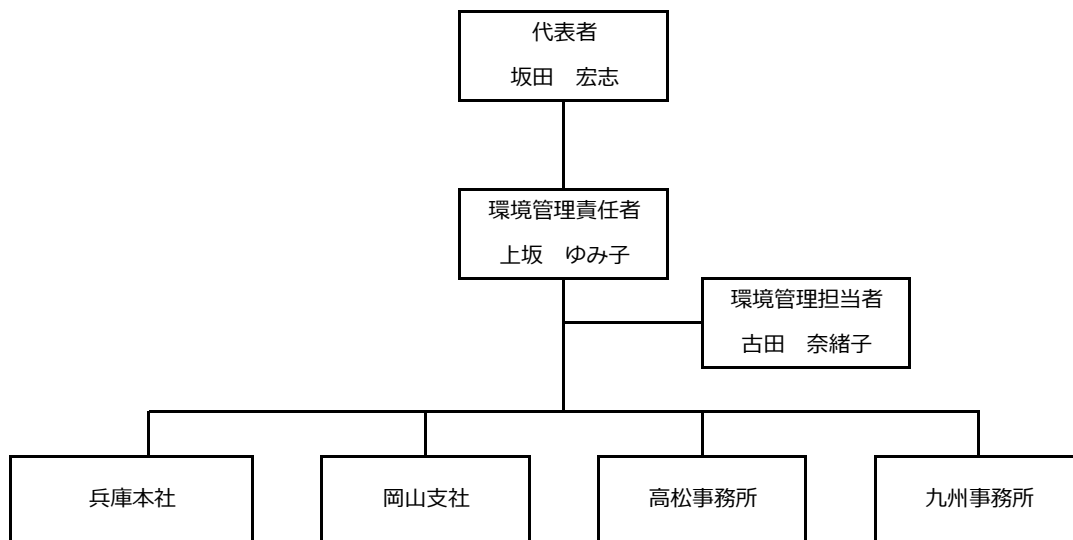
□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名： 株式会社野生鳥獣対策連携センター

対象事業所： 本 社 〒669-3811 兵庫県丹波市青垣町佐治94番地-2
岡山支社 〒709-0721 岡山県赤磐市桜ヶ丘東3丁目3-247
高松事務所 〒761-8082 香川県高松市鹿角町字城ノ内320-20

活動： 野生動物の被害対策や捕獲に関する実態調査、技術指導、現場対応、各種マニュアル・
技術プログラム作成、個体数推定・将来予測、各種計画の策定、事業効果検証

□環境経営組織図及び役割・責任・権限表



	役割・責任・権限
代表者	・環境経営の統括責任者 ・経営資源（人員・設備・費用）の準備 ・環境方針の策定 ・環境管理責任者を任命 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境活動レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理の責任者 ・環境目標・環境活動計画の承認 ・環境活動の管理状況（実施状況と結果）を代表者へ報告 ・全社員への周知、教育と訓練 ・環境活動レポートの作成責任者
環境管理担当者	・環境管理責任者の補佐 ・環境負荷及び環境への取組の自己チェックの実施 ・環境目標、環境活動計画書原案の作成 ・手順書作成及び運用管理 ・緊急事態への対応のための手順書作成 ・教育及び訓練実施、記録の作成 ・問題点の発見、是正、予防処置の実施 ・環境活動のデータ収集と実績まとめ ・環境関連法規等取りまとめと遵守状況のチェック ・環境管理文書・記録の作成と保管 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境活動レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・自分の役割を理解し、自主的・積極的に環境活動へ参加

○環境経営目標

2022年度売上高： 328,451 千円

番号	項目	実績（基準） 2022年度	環境目標		
			2023年度	2024年度	2025年度
1	二酸化炭素排出量の削減※1 kg-CO2	26,632.7	前年度実績-0.1% 26,606.0	前年度目標+0.1% 26,579.3	前年度目標+0.1% 26,579.3
1-1	電力使用量の削減 使用量（kwh） 原単位＝ （電力使用量/売上高）kwh/千円	22,316.0 0.0679430	前年度実績-0.1% 22,293.7 0.0679432	前年度目標+0.1% 22,316.0 0.0679432	前年度目標+0.1% 22,338.3 0.0679432
1-2	LPG使用量の削減 使用量（kg） 原単位＝ （LPG使用量/売上高）kg/千円	47.61 0.000145	前年度実績-0.1% 47.56 0.000145	前年度目標+0.1% 47.61 0.000145	前年度目標+0.1% 47.66 0.000145
1-3	ガソリン使用量の削減 使用量（L） 原単位＝ （ガソリン使用量/売上高）L/千円	25,502.1 0.077643	前年度実績-0.1% 25,476.6 0.077643	前年度目標+0.1% 25,502.0 0.077643	前年度目標+0.1% 25,527.5 0.077643
1-4	灯油使用量の削減 使用量（L） 原単位＝ （灯油使用量/売上高）L/千円	305.5 0.000930	前年度実績-0.1% 305.2 0.000930	前年度目標+0.1% 305.5 0.000930	前年度目標+0.1% 305.8 0.000930
2	一般廃棄物排出量の削減 廃棄量（kg） 原単位＝ （廃棄量/売上高）kg/千円	1,352.3 0.004117	前年度実績-0.1% 1,350.9 0.004117	前年度目標+0.1% 1,352.3 0.004117	前年度目標+0.1% 1,353.6 0.004117
3	水道水使用量の削減 使用量（㎡） 原単位＝ （水道水使用量/売上高）㎡/千円	182.0 0.000554	前年度実績-0.1% 181.8 0.000554	前年度目標+0.1% 182.0 0.000554	前年度目標+0.1% 182.2 0.000554
4	コピー用紙使用量の削減 使用量（kg） 原単位＝ （用紙使用量/売上高）kg/千円	456.0 0.001388	前年度実績-0.1% 455.5 0.001388	前年度目標+0.1% 456.0 0.001388	前年度目標+0.1% 456.5 0.001388
5	サービスに関する項目 （受託業務件数） 件数	74	前年度実績-0.1% 74	前年度目標+0.1% 74	前年度目標+0.1% 74
6	薬品の適切な使用、管理 （麻酔銃用の麻酔）	適切に使用し、管理を徹底する			

※1 二酸化炭素排出係数 0.434 kg-CO2/kWh 関西電力の調整後の係数(2022年度実績)

弊社では、拠点ごとの実績を比較可能とするため、岡山支社、高松事務所も兵庫本社と同じ関西電力の係数を使用しています。

※2 化学物質は使用していません。

※3 売上計画を基に目標値を設定。

○環境経営目標の実績

2022年度売上高： 328,451 千円

番号	項目	単位	2022年度 実績（基準）	2023年度			
				目 標	実 績	基準年度比	判定
1	二酸化炭素排出量の削減※1 kg-CO2	kg-CO2	26,632.7	前年度実績-0.1% 26,606.0	25,771.2	96.8%	○
1-1	電力使用量の削減 使用量（kwh） 原単位＝ （電力使用量/売上高）kwh/千円	kwh kwh/千円	22,316.0 0.067943	前年度実績-0.1% 22,293.7 0.067943	20,295.0 0.061879	90.9% 91.1%	○ ○
1-2	LPG使用量の削減 使用量（kg） 原単位＝ （LPG使用量/売上高）kg/千円	kg kg/千円	47.6 0.000145	前年度実績-0.1% 47.6 0.000145	16.1 0.000049	33.9% 34.0%	○ ○
1-3	ガソリン使用量の削減 使用量（L） 原単位＝ （ガソリン使用量/売上高）L/千円	L L/千円	25,502.1 0.077643	前年度実績-0.1% 25,476.6 0.077643	25,331.1 0.077233	99.3% 99.5%	○ ○
1-4	灯油使用量の削減 使用量（L） 原単位＝ （灯油使用量/売上高）L/千円	L L/千円	305.5 0.000930	前年度実績-0.1% 305.2 0.000930	365.5 0.001114	119.7% 119.8%	× ×
2	一般廃棄物排出量の削減 廃棄量（kg） 原単位＝ （廃棄量/売上高）kg/千円	kg kg/千円	1,352.3 0.004117	前年度実績-0.1% 1,350.9 0.004117	1,260.8 0.003844	93.2% 93.4%	○ ○
3	水道水使用量の削減 使用量（m³） 原単位＝ （水道水使用量/売上高）m³/千円	m³ m³/千円	182.0 0.000554	前年度実績-0.1% 181.8 0.000554	133.0 0.000406	73.1% 73.2%	○ ○
4	コピー用紙使用量の削減 使用量（kg） 原単位＝ （使用量/売上高）kg/千円	kg kg/千円	456.0 0.001388	前年度実績-0.1% 455.5 0.001388	454.1 0.001385	99.6% 99.7%	○ ○
5	サービスに関する項目 （受託業務件数） 件数	件	74	74	75	101%	○
6	薬品の適切な使用、管理 （麻酔銃用の麻酔）	－	適切に使用し、管理を徹底する		適切に使用し、 管理を徹底した	－	○

※1 二酸化炭素排出係数 0.434 kg-CO2/kWh 関西電力の調整後の係数(2022年度実績)

弊社では、拠点ごとの実績を比較可能とするため、岡山支社、高松事務所も兵庫本社と同じ関西電力の係数を使用しています。

※2 化学物質は使用していません。

※3 売上計画を基に目標値を設定。

□環境経営計画の取組結果とその評価

活動評価：○よくできた △あまりできなかった ×全くできなかった

項目	取組み計画	活動評価	取組み結果とその評価
二酸化炭素排出量の削減	(以下のとおり)	○	削減のための取組みを行い、数値目標を達成することができた。 取組み内容については、以下のとおり。
電力使用量の削減	・ 不要な電灯は消灯する。	○	昨年度に比べ、月次の使用量が増加している月もあったが、年間では使用量が減少した。岡山支社と高松事務所の社屋で宿泊することが減ったため、電気使用量が減少した。 事業内容によって、使用量の増減が考えられるため、引き続き、省エネ・節電対策を行いながら、適切な利用を行う。
	・ エアコンは適切利用を行う。	○	
	・ 夜間、休日は機器主電源を切る。	○	
LPG使用量の削減	・ 冬季以外のガス給湯器の使用を控える。	○	昨年度に比べ、9、10、11月の使用量が大幅に減少したこともあり、年間の使用量が減少した。昨年のこの期間は、岡山支社と高松事務所の社屋で宿泊することがあった期間であり、宿泊がなかった今年度は使用量が減少した。 今後も、事業の内容によって、使用量の増減が予想されるため、引き続き、適切な利用を行う。
	・ 温水温度の適正化	○	
ガソリン使用量の削減	・ エコドライブを励行する。	○	兵庫本社で社有車の台数が1台増加したが、年間の使用量においては目標を達成した。 当社の業務では車の利用が必須であるため、今後も使用量の増減が考えられる。 引き続き、適切に使用していきたい。
	・ 公共交通機関の利用に努める。	○	
灯油使用量の削減	・ ストープの適切利用を行う。	△	気温の低下とともに、ストーブを使用する機会が増えた。 エアコンとの併用利用を行い、適切に使用していきたい。

項目	取組み計画	評価	取組み結果とその評価
一般廃棄物排出量の削減	・分別回収を徹底する。	○	上半期では、廃棄量の増加がみられたが、下半期になって廃棄量が減少し、年間で目標を達成することができた。今後も人員の増加や資材購入の際の梱包資材等、廃棄量の増加も考えられる。ゴミ分別の徹底や、リサイクルの推進をし、廃棄量削減に努める。
	・発生したゴミは出来るだけ圧縮する。	○	
	・トナーカートリッジのリサイクルを図る。	○	
水道水使用量の削減	・節水を励行する。	○	昨年度に比べ、月次の使用量が増加した月もあったが、年間では使用量が減少した。引き続き、節水対策を行いながら、適切な利用を行う。
	・節水を励行する呼びかける張り紙をする。	○	
	・節水栓、節水コマ等を取り付ける。	○	
コピー用紙使用量の削減	・会議資料や事務手続き書類の簡素化。	○	昨年度に比べ、使用量が増加した月もあったが、年間では使用量が減少した結果となった。業務で必要な印刷を社内で行うため、今後も使用量の増減が考えられる。複合機の機能を利用してミスプリントを防ぎ、受信FAXの電子化を行い、使用量の削減に努める。
	・文書の電子データ化に努める。	○	
サービスに関する項目 (受託業務件数)	・シェア拡大	○	昨年度に比べ、受託業務件数は増加した。来年度も、受託増加を目指していく。
	・稼働率向上	○	
	・顧客クレーム削減	○	
薬品の適切な使用、管理 (麻酔銃用の麻酔)	・薬品の管理を徹底する	○	兵庫、岡山共に、薬品は適切に管理出来ている。引き続き適切な管理を行っていきたい。
	・使用の際には、適切な使用をする	○	

☐ 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）	本社	岡山	高松
環境基本法	環境の保全に関する基本理念や事業所の責務を定め、基本事項の遵守	○	○	○
フロン排出抑制法	特定製品（業務用エアコン、冷蔵庫等）の整備・維持保全、簡易点検	○	○	○
浄化槽法	浄化槽の設置の届出、保守点検、清掃、水質定期検査の実施	○	-	○
下水道法	公共下水道への排水	-	○	-
リサイクル法	パソコンのリサイクル化	○	○	○
廃棄物処理法	保管基準の遵守、収集運搬、処分業者との適正な契約、マニフェストの管理	○	○	○
家電リサイクル法	TV・洗濯機・冷蔵庫・エアコンの適正処理	○	○	○
丹波市廃棄物の適正処理、減量及び再利用に関する条例	丹波市内における廃棄物の適正処理、減量化及び再利用	○	-	-
赤磐市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例	赤磐市内における廃棄物の適正処理、減量化及び再利用	-	○	-
高松市廃棄物の適正処理及び再生利用の促進に関する条例	高松市内における廃棄物の適正処理、減量化及び再利用	-	-	○
自然公園法	生物多様性の確保・保護	○	○	○
鳥獣保護管理法	鳥獣の保護及び管理、猟具の適正使用、生物多様性の確保、安全管理講習及び技能知識講習、鳥獣捕獲等事業の認定	○	○	○
外来生物法	特定外来生物等の防除・駆除	○	○	○
銃砲刀剣類所持等取締法	麻酔銃の保管及び記録	○	○	-
医薬品医療機器法	毒薬又は劇薬の貯蔵・陳列	○	○	-
麻薬及び向精神薬取締法	麻薬研究者の届出、麻薬及び向精神薬の管理	-	○	-
消防法	消防用設備等の設置及び維持	○	○	○

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

☐ 外部からの環境上の苦情・要請等

環境上の苦情等はありませんでした。

□代表者による全体の評価と見直し・指示

エコアクション21の取組みが9年目を迎えた。

弊社は、業務の受託件数の増減によって資源使用量も増減があるため、社員一人一人ができることから環境負荷削減の取組み活動を行っている。新型コロナウイルス感染症が5類に変更になり、業務内容や、社員の働き方もコロナ前に戻りつつある中で、こういった活動の結果として、二酸化炭素排出量の数値目標を達成することができた。

電気、ガスの使用量について、昨年度に比べ使用量が減少した。今後も適切な使用をしていく。来年度以降、兵庫本社では、省エネ、断熱、創エネといった3つの要素を満たした地球環境に優しい社屋の建設を予定しており、二酸化炭素排出量の削減が期待できる。

ガソリンの使用量については、今年度に兵庫本社で1台、来年度は岡山支社で1台、社有車を増車する。ガソリン使用量の増加が予想されるため、適切に使用していく。

その他の項目は、すべて数値目標を達成していた。

今後も、環境に配慮しながら事業活動を行い、環境の保全に努める。

令和6年9月1日 坂田 宏志

環境経営方針	☒ 変更なし	☐ 変更あり
環境経営目標	☒ 変更なし	☐ 変更あり
環境経営計画	☒ 変更なし	☐ 変更あり
実施体制	☒ 変更なし	☐ 変更あり